

◆頑張っている人物やグループを広報編集委員が紹介するページです…担当/田中たい子



香南市夜須町の歴史ある長谷寺。今、有志たちが集まり、昔の人の生活道である「塩の道」を整備しています。周辺遊歩道を記した「長谷寺周辺歴史の道地図」づくりの取り組みを紹介します。

伝説の道づくり計画

現在の住職、小林玄徹さんは、前住職池田宗石氏の残した手書きの地図を差し出しました。そこに記されていたのは、「伝説の道を作ろう長谷寺―羽尾峠」。数々の歴史文書で調べられた、この地域に残る伝説と「伝説のみち公園」計画書でした。「前住職の夢を受け継ぎ、完成させたい」と、玄徹さんから有志は動き出しました。山道を繰り返し歩き、現在の地図にはない道を探り当て、昔の人が暮らし、歩いた生活道(塩の道)を復活させるのです。

有志の取り組み

お寺周辺には、旧香美郡下はもとより芸西からも複数の道が延びています。羽尾の里からも幾つもの道が巡っています。その中には、西国三十三所観音巡礼のできるコースもあり、これらの道は細く、途中崩れて土に埋まり、歩けない場所もたくさんありました。道に横たわった枯れ木が折り重なる場所は、チェーンソーで切り開き、人が通れるように整備しました。分かれ道には、歩く人が迷わないように看板を設置し、基点に記号をつけ、その間の距離、時間を測って記録し、地図に掲載します。

羽尾の宿泊施設「大釜荘」とお寺を結ぶ散策ルートをいくつか作り、「初心者コース」から「上級者コース」までを地図に記し

ていきます。既存の地図には載っていない道も数多くあります。

人々の歴史を見つめ続けた寺

落ち葉の覆われた石垣はかつての畑地だったことを物語っていますが、杉の木が高くそびえていて暗くてここまで太陽の光が届きません。人が住んでいた頃の風景に想いを寄せながら、有志たちの作業は、進められていきました。「展望所に、茶店があったらいいね」と、更に夢は膨らみます。

長い間地域の人々を見守り続けてきた長谷寺。今年は室町時代からの梵鐘を納める鐘つき堂を以前あった場所に再建します。寺を訪れる人は、古人の歩いてきた道を踏みしめ、しばし、その歴史に触れることができることでしょう。



古人の歩いた道をふたたび…
羽尾の古道を歩かん会



編集後記

▼残暑お見舞い申しあげます。今月号は、夏色の香南をカラーでお届けします。編集突入時は暑さと格闘しながらだったのに、あと一息で校了という日の夜風はすっかり秋。インフルエンザの流行が気になります。季節の変わり目体調に十分気をつけて、○の秋をお楽しみください。(井(m)(s))

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.jp

市のうごき

(H21. 7. 31現在) ()は昨年同月対比

■人口/33,776人	7月の火災・救急事故
■世帯/13,777戸	■火災 0件〔1件減〕
(男/16,104人 女/17,672人)	■救急 132件〔2件減〕
■出生/ 15人 ■死亡/ 42人	7月の交通事故
■転入/ 61人 ■転出/ 78人	■事故件数 17件〔4件増〕
■対前月人口比/ 44人減	死者 0人〔3件減〕
	傷者 19人〔7人増〕